

こども  
子供のインターネットバイブル  
あんない  
案内いたします



おう  
王さまダビデ  
(その2)



ぶん  
文: Edward Hughes  
え  
絵: Lazarus

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick  
しゅつばんしゃ  
出版社: Ruth Klassen

60話の第21話

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよか たにん う かぞ はなし また まよか  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

おう  
ダビデは、ユダの王さまとなりました。  
ちょうどパレスチナの南の地です。  
でも、のこりのイスラエルの土地は、  
みんなサウルの子イシュボセ  
テのものでした。  
イスラエルでの2人の  
たたかいは、  
とてもはげしく、  
7年ものあいだつ  
づいたのです。  
さて、そのあいだに  
ダビデはどんどん、  
どんどん強くなっ  
ていきましたよ。



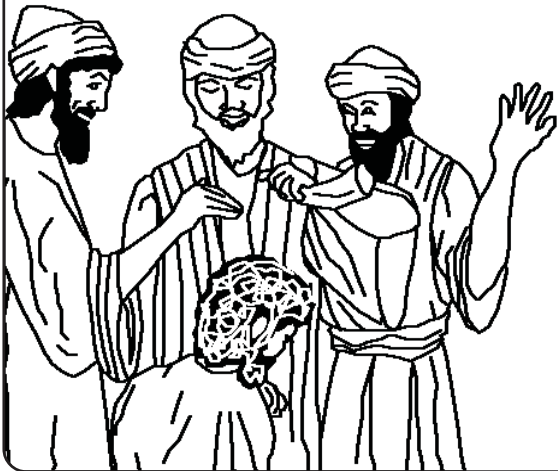
1

おう  
あるとき、イシュボセテ王は、  
とうとう自分の2人の兵士に  
ころされてしまいました。



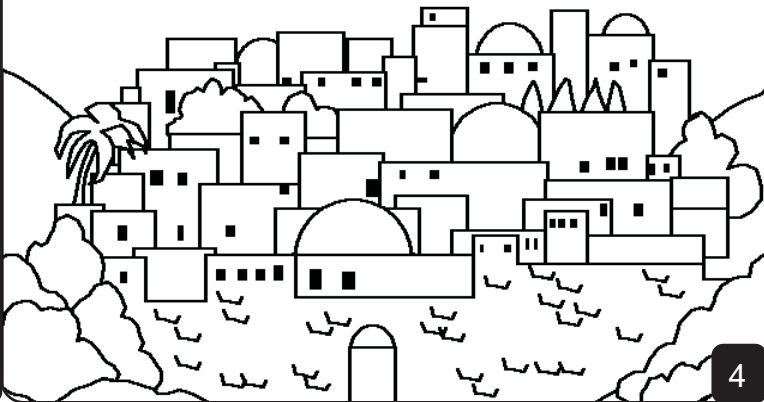
2

すると、イスラエルのすべての12の部族がみんなダビデのところにあつまってきて、こう言いました。「われわれの王だ、イスラエルの王さまだ！」って。それからずっと、ダビデは、このイスラエルのすべての国の王さまでした。



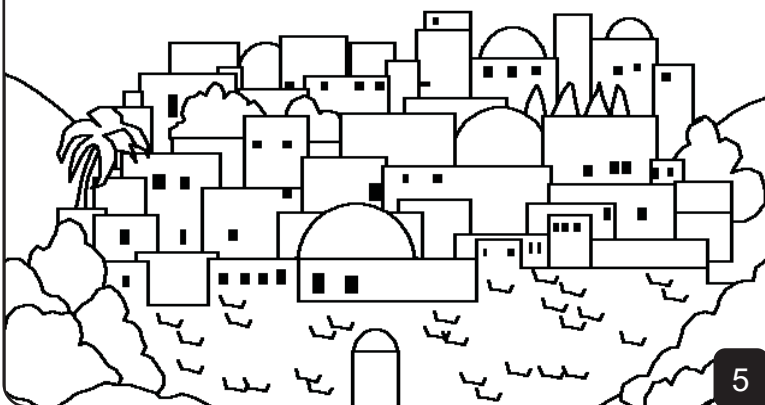
3

さて、ダビデがいちばんはじめにしたことは、エルサレムに都をうつすことでした。その町は、のちにダビデの町としてみんなに知られるようになりましたよ。



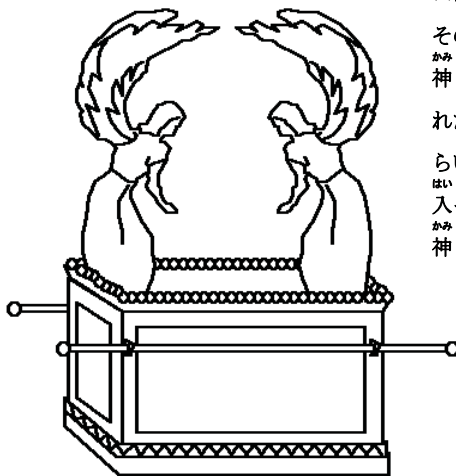
4

ダビデは、ここを、どんな強いてきが攻めてきてもだいじょうぶなように、たてなおしました。ダビデの軍たいは、いつもここから、ペリシテ人やイスラエルの他の国々のてきをやっつけに出かけていきました。



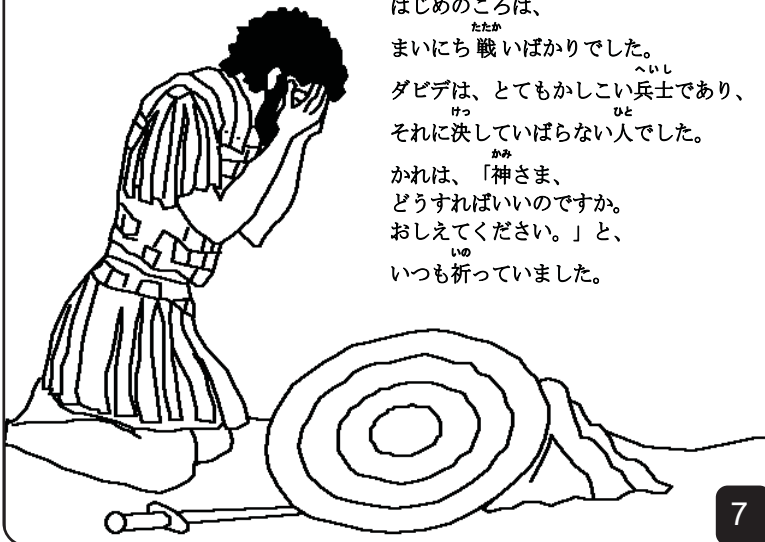
5

ダビデ王が、そのつぎにしたことは、神のはこを、エルサレムにはこんでくることでした。その神のはこには、神さまの十のやくそくが書かれたものや、モーセが神さまからいただいたそのほかの物も入っています。そのはこは、神さまが聖なる方で、神さまにしがって生きることを、イスラエルの人々に思ひ出させました。



6

ダビデが王さまになってから、はじめのころは、まいにち戦いばかりでした。ダビデは、とてもかしこい兵士であり、それに決していばらない人でした。かれは、「神さま、どうすればいいのですか。おしえてください。」と、いつも祈っていました。

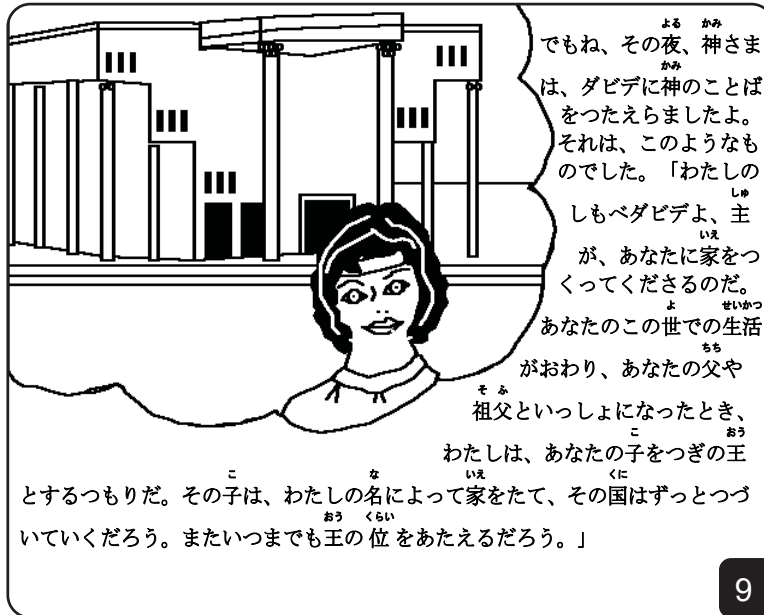


7

あるとき、ダビデは、自分がとてもよい家にすんでいるのに、神さまのはこが、テントの中におかれました。ままになっていることに、気がつきました。そこで、ダビデは神さまの家をたてようとして決めました。神さまのよげん者ナタンは、言いました。「ダビデさま、どうぞさうなさってください。」



8



でもね、その夜、神さまは、ダビデに神のこぼをつたえられましたよ。それは、このようなものでした。「わたしのしもべダビデよ、主が、あなたに家をつくってくださるのだ。あなたのこの世での生活がおわり、あなたの父や祖父といっしょになったとき、わたしは、あなたの子をつぎの王とするつもりだ。その子は、わたしの名によって家をたて、その国はずっとつづいていけよう。またいつまでも王の位をあたえよう。」



ダビデは、もしサウルの家ぞくが生きのこっているなら、助けたいと思いました。さがしているうちに、ただひとりヨナタンの子メフィボシェトだけ、見つけることができました。かれは、足が悪くあることができません。「メフィボシェト、あなたは王のむすこのようなもの。」



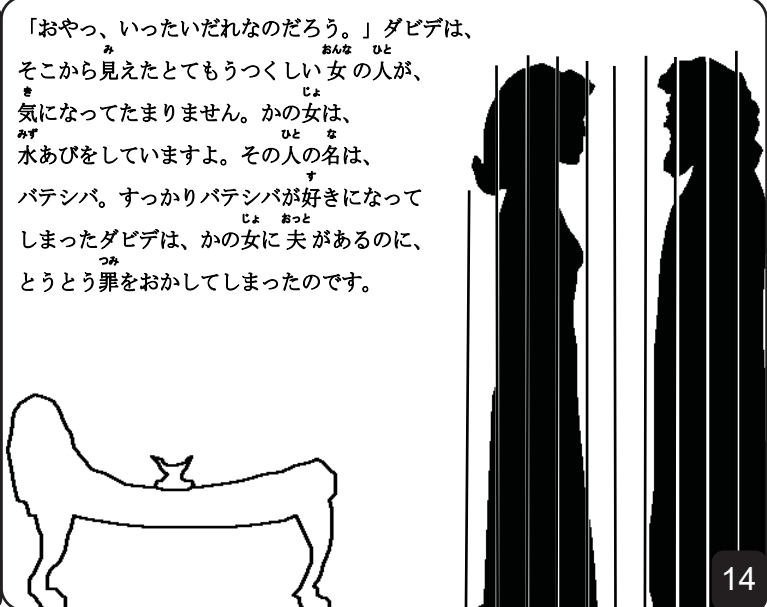
さあ、わたしのテーブルでいっしょに食事をしよう。」このように言って、ダビデはメフィボシェトにほんとうにやさしくしてあげました。どうしてって、かれはダビデのいちばん仲よしヨナタンのむすこですからね。



ダビデは、こころから神さまを信じ、したがって生きていました。だから、神さまは、いつもダビデを助けてくださり、すべてがうまくいきましたよ。ところがある日、ダビデは、とつぜんとても悪いことをしてしまうのです。そのときちょうど、かれの軍たいは、戦いに出かけてしまい、ダビデだけがエルサレムにのこっていました。



ある夜のこと、ダビデはどうしても眠れません。そこで、かれは家のいちばん上まであがり、ぼんやりと町のようすをながめていました。

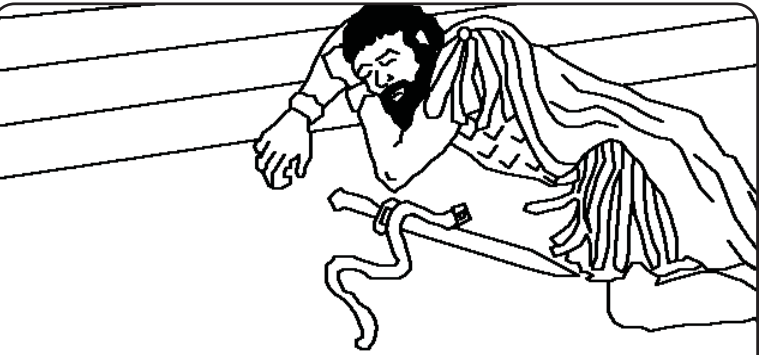


「おやっ、いったいだれなのだろう。」ダビデは、そこから見えたとてもうつくしい女の人が、気になってたまりません。かの女は、水あびをしていますよ。その人の名は、バテシバ。すっかりバテシバが好きになってしまったダビデは、かの女に夫があるのに、どうとう罪をおかしてしまったのです。

じつは、パテシバの夫ウリアは、  
ダビデの勇かな兵士のひとりでした。  
しばらくして、パテシバは、おなかにダ  
ビデの子がいることを話しましたよ。さあ、  
たいへんなことになってしまいました。  
ダビデは、自分の罪がもっともつとやっ  
かいなことになっていくのがわかりました。

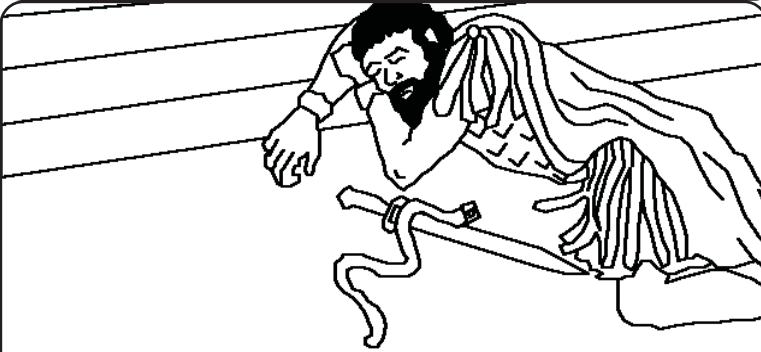


15



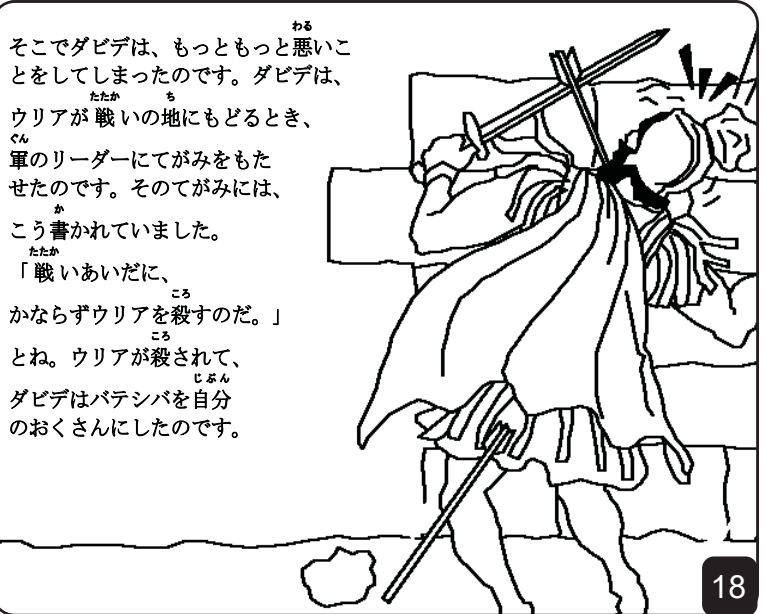
「なんとかしなければ・・・。」そう思ったダビデは、  
自分の罪を神さまにあやまるかわりに、その罪をかくそうとしたのです。  
そんな悪いことは、うまくいくはずがないのにね。とにかく、  
ダビデは戦いの地にいるウリアを呼び、こう言いました。  
「家にもどって、ゆっくり休むように。」

16



それは、ウリアがパテシバとすごすと、かの女のおなかにいる赤ちゃんを、  
自分の子と思うだろうとかがえたからです。ところが、  
ウリアは家でゆっくり休みたいありません。なぜなら、  
かれのなかまの兵士が、戦ってるのですからね。  
ウリアは、その夜、王の家の戸のところで、ねむりました。

17



そこでダビデは、もっともつと悪いこ  
とをしてしまったのです。ダビデは、  
ウリアが戦いの地にもどるとき、  
軍のリーダーにてがみをもた  
せたのです。そのてがみには、  
こう書かれていました。  
「戦いあいだに、  
かならずウリアを殺すのだ。」  
とね。ウリアが殺されて、  
ダビデはパテシバを自分  
のおくさんにしたのです。

18

神さまは、しもベナタンに言われました。「ダビデに、かれのおかした罪  
を教えてあげなさい。」そこで、ナタンはダビデにひとつのお話をしました。

たいへんなお金もちの人と、貧しい人のお話ですよ。お金もちは、  
たくさんの子ヒツジをもっていました。

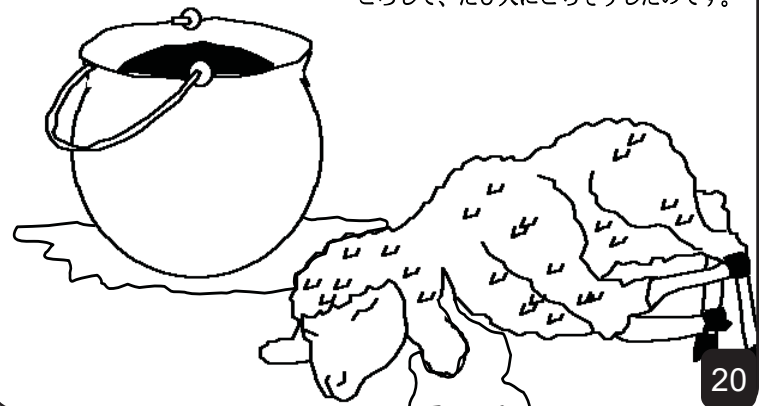
けれども、貧しいひとは、  
たった1びきの子ヒツジしかいません。  
貧しい人は、その子ヒツジをまる  
で自分のむすめのように、  
だいじにしていました。



19

あるとき、ひとりのたび人が、お金もちのところへやってきました。

けれども、そのお金もちは、たび人にごちそうするため、  
かれのヒツジを1びきもころさなかつたのです。そのかわり、お金もちは、  
貧しい人の1びきしかいない子ヒツジを取って、  
ころして、たび人にごちそうしたのです。



20

ダビデはおこりました。  
「その金もちもちは、なんて悪いやつだ！」  
そしてさげびました。  
「そんなことをするやつは、  
きっと死んでしまうことになるだろう。」



21

「ダビデさま、あなたこそ、その悪いやつなのです。」ナタンは、  
ゆう気をだしてダビデに、きっぱりこう言いました。ダビデのやったことは、  
この金もちがやったことより、もっともっと悪いことなのですからね。



22

神さまは、ダビデに教えられました。ダビデのしたことは、どんなにひどいことかということ。それでダビデは、自分のおかした罪がよくわかり、心から神さまにあやまりました。「神さま、わたしはあなたにそむいて、こんなにも悪いことをしてしまったのです。どうぞ、おゆるしてください。」  
神さまは、ダビデの罪をゆるしてくださいましたよ。けれども、バテシバの赤ちゃんは、病気になる、生まれてからすぐに死んでしまいました。



23

神さまは、ダビデのそのひどい罪をゆるしてくださいました。しばらくして、バテシバに次の子ができました。その子の名は、ソロモン。かれが、ダビデのあとすばらしい王になるのです。ダビデは、それからもたくさんの子をあたられましたよ。でも、何人かの子供たちは、ダビデをとともかなしませることになるのですけれど。



24

### 王さまダビデ (その2)

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

サムエル記下 1 章 -12 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいましたのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

